



「科学英語講演」を実施しました！

2月8日（木）・9日（金）、「科学英語講座」（サイエンス・ダイアログ・プログラム）（対象：2年生普通科理系，1年生環境科学科）を実施しました。サイエンスダイアログは、日本学術振興会のフェローシップ制度により、世界各国から来日して日本の研究機関で研究を行っている若手外国人研究者を講師として高等学校等に派遣し、自身の研究や出身国に関する講義を英語で行うプログラムです。8日には、ウクライナ出身の Ivan Seleznov 先生（大阪大学基礎工学研究科機能創成専攻生体工学領域生体物理データ科学グループ博士研究員）に「Fractal dimension（フラクタル次元）」という演題でご講演いただきました。自己紹介の



後、ウクライナの歴史や文化を紹介し、フラクタル次元の基礎と応用について解説されました。生徒たちは、ウクライナの卵をぶつける習慣について説明したり、先生からのフラクタル次元や対数計算の質問に答えたりしていました。9日には、イタリア出身の Roberto Coppo 先生（京都大学大学院医学研究科クリニカルバイオリソース研究開発講座で博士研究員）に「“I have no special talents, I am only passionately curious.”（“私には特別な才能はない、ただ情熱的な好奇心がある。”）」という演題でご講演いただきました。同様に、自己紹介の後、故郷の紹介やイタリア語講座を行いました。その後、DNA 構造やヒトゲノム計画について解説し、癌の個別最適化治療に向けた研究についてお話していただきました。生徒たちは、先生の趣味であるサッカーについてや、個別最適化治療決定にかかる時間とその可能性について質問していました。以下、生徒の感想です。「科学や研究のこと以外にも、ウクライナ文化を英語で沢山知ることがよかった」「内容がすごく面白くて興味がわきました。英語の勉強にもなりよかったです」「図や絵で分かりやすく書かれていて、英語が苦手でも関心を持って聞くことができた」



「SSH 先端科学講座（宇宙）」を実施しました！

2月9日（金）、中学生、高校1年生普通科を対象に「SSH 先端科学講座（宇宙）」を実施しました。この講座は、有人宇宙システム株式会社（JAMSS）顧問の前村孝志先生にご来校いただき、「ロケットはどうやって飛ぶの—日本のロケット開発と世界—」という演題でご講演いただきました。日本の宇宙開発の現状や国際宇宙ステーション ISS、ロケット設計に必要な機械工学、日本のロケット発射場等についてご教授いただき、最後には生徒たちの質問にご回答いただきました。以下、生徒の感想です。「小さい頃から宇宙について興味を持っており、宇宙飛行士や宇宙ステーションといったことがとても好きでした。今回、ロケット開発から打ち上げまでさまざまなことを知ることができてとても良い経験になりました。」「自分の将来の夢はまだきちんと決まっていないので、一つ新しく視野に入れて考えてみようと思いました。」「ロケットの製作にとっても興味・関心が湧きました。改めて理系への興味とワクワク感が増すことができて良かったです。」

